



「誠実・実行・志し！」

元東伊豆町議会議員

須佐まもる

バックナンバーはホームページで！

イソブキ便り！ No.17 平成30年3月1日発行

須佐まもる後援会 〒413-0302 静岡県賀茂郡東伊豆町奈良本 1496-18
Tel&Fax 0557-23-3501 / 080-3458-0925 E-mail:mamo@knossos.jp

「須佐まもる
後援会」で検
索しよう！



facebook いいね！
お願いします
Facebookページから情報をゲット！

災害ボランティア 養成講座を開設

賀茂地区の災害ボラン
ティアコーディネーター
養成講座が開かれました。
座学から始まりHUGと
いう避難所運営ゲームも
行いました。二日目は、実
際に災害ボランティア本
部の立ち上げ訓練を行っ
て、緊張感のある二日間を
過ごしました。



避難所運営ゲーム (HUG) は、災
害時に次々起こる事柄を 250 枚の
カルタにして読み上げ、図面上で対
応を訓練するものです。

ここ数日、各地で規模の
大きな地震が発生してい
ます。東海・南海東・南海
の三連動地震が必ず来ま
す。迷わず備えることが大

切です。災ボラは全国から
来ていただけるボランテ
ィアに気持ちよく動いて
もらうために必要です。

1/14、15

稲取漁港に 直売所の建設案

稲取漁協に建設が予定
される まだ案の段階)直
売所の説明会に行ってい
ました。私は直売所の建設
に賛成しています。観光客
もやはり地元で採れたも
のをじかに買いたいとい
う気持ちが強いです。この
施設ができれば地域の賑
わい創出の核ができると
思います。

その上で、このままでは
素直に賛成できない点が
いくつかあります。まず、
町長が任せられる運営母
体が漁協や農協という点。
このことは今の町の実態
を映しているようで残念

です。今回の指定管理者も
3年後には見直されるの
でしょうから、NPOなり
の法人を町が育て運営に
当たってほしいと感じま
した。このことは議会でも
三言三語してきました。

というのも役所という
のは一部の奉仕者ではな
く全体の奉仕者です。そし
て、公のお金、とりわけふ
るさと納税を使っている
ことに関して慎重でなけ
ればなりません。二次加工
品なども含め、私はすべて
の生産者が等しく出品で
きる形が理想だと思ってい
ます。町が漁協や農協と
いう企業のためにお膳立
てをするのはいかなかも
のかと思います。

これによって町の賑わ
いが取り戻せるかは、指定
管理者がどれだけ使命感
を持って取り組むかです。
それと、防災対策について
やはり気になります。津波

をかぶった時、建物もそう
ですが、駐車した車が漂流
し被害が拡大するという
点、地域住民と同様に観光
客へも避難告知の徹底が
必要でしょう。役場の立体
駐車場を避難タワーとし
て代用することも考える
べきだと感じます。

東日本大震災が起きて
3カ月たったころ気仙沼
に行きました。そのとき壊
滅的な被害を受けていた
直売所が、半年後に行った
ときには営業を再開し賑
わいの核になっていまし
た。そのことも記しておき
ます。 1/16



役場周辺が津波危険地域になって
います。駐車場問題が深刻ですが、
駐車した車が津波で流れ被害が拡
大するなど、命の問題が急務です。

古道と石丁場を散策 新春ウオーキング

東伊豆ふるさと大学」のイベントを開催しました。稲取から河津に向かって早春の古道を歩き、梅の香や寒椿の美しさに魅了されながら本林（ほんばやし）石丁場まで歩きました。石丁場では刻印のある築城石を観察しました。東伊豆町には大川をはじめ稲取、北川など、石丁場が点在しています。私有地が多い中、ここ本林石丁場は町有地になっており活用が期待されています。参加者してくれた13名からは口々に、もっと活用してほしい、整備して観光の目玉に、役場がもっと主導的になって世に出してほしい、学芸員を置いて研究してほしいなどの意見や期待の声を聞きました。 1/28

町がイズーに アスト会館売却へ

一月に東伊豆町がアスト会館の売却を協議しているとの報道がありました。その相手先が河津町の動物園「IZOOネズー」ということで町内がどよめきました。売却額1千万円を基本に交渉し、2018年度中の契約を目指しているとのこと。その今を時めくイズー園長の白輪剛史さんの話を下田法人会主催の伊豆下田元気塾で聴講することが出来ました。白輪剛史さんがアンデイルランドを購入したとき、年間2万人の入園者だったそうですが、ひと夏でその数字を超えました。それには隠された秘密、そうテレビCMがあったのです。白輪園長は富士サファリパークのような思わず口

ずさんでしまうCMにしてほしい」と注文したそうです。それがあの「・・・イズー！イズー！」だったそうですよ。

東伊豆町のアスト会館を購入するに至った経緯は、IT系の専門学校の話が白紙になったのをニュースで見て、すぐ役場に電話したそうです。伊豆には多種多様な動物園がある。それを支える若い人材を育成する専門学校は必要性が増す」というのが白輪氏の目論見のようです。2学年120人の若者が寄宿すると考えると、町に大きなメリットになります。イズーは動物園飼育員やペットショップオーナーなど動物に携わるスペシャリストを育成する認可外教育施設の2020年4月開校を計画しています。

1から出直す覚悟で「まちづくり」に臨みます。

活気に満ちた魅力あるまちづくり

地域や世代、新旧を問わず住民が手を取り合って憩えるまち、男女の偏見のないまちづくりをすすめます。地域活性化のための補助金制度創設を提言します。働く人ひとり一人が豊かさを享受できる町に。Uターン者・移住者の雇用を確保するため、テレワークを提言していきます。

災害に強いまちづくり

観光や防災に強いアクセス道路が早急に必要ことから、湯が丘=赤川線の延伸を強く求めます。また、三連動地震が迫っていることから庁舎移転を早急に進めるべく提言を続けます。

地域の財産を活かした観光のまちづくり

大自然や歴史・伝統を活かした観光をすすめるためにエコツーリズムを提唱し、ボランティアガイドの育成に力を入れます。地域の特産品のブランド化を提唱し6次産業化をすすめます。

オリンピックを見据えた地域活性化

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、町を挙げた合宿誘致・観光誘客を提言していきます。これまでの経験を活かし、県との結びつきをより重視していきます。

教育・福祉の拡充、若者の声を活かすまちづくり

心身ともに健康な子どもの成長を育むため、育児環境や学校環境を整えます。ふるさとに愛着を持つ教育を提言し、若者の声を政治に取り入れます。